

更生保護制度

問題 147 更生保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 更生保護制度を基礎づけている法律は、更生保護法である。
- 2 更生保護制度は、刑事政策における施設内処遇を担っている。
- 3 更生保護の対象者は、保護観察に付されている者に限る。
- 4 更生保護に関する事務は、家庭裁判所が所掌している。
- 5 保護観察所は、更生保護を実施するための第一線の機関である。

問題 148 更生保護制度の担い手や施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護観察官は、地方検察庁に配置されている。
- 2 保護司は、担当事件によっては給与が支払われる。
- 3 保護司の職務は、保護観察事件に限定されている。
- 4 更生保護施設への委託期間は、更生緊急保護対象者の場合、延長することが可能である。
- 5 更生保護施設は、地方公共団体が運営しなければならない。

問題 149 触法少年に対する関係機関の対応に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 警察は、触法少年を検察官に送致することができる。
- 2 警察は、触法少年を地方裁判所に送致することができる。
- 3 児童相談所長は、触法少年を児童自立支援施設に入所させることができる。
- 4 児童相談所長は、触法少年を検察官に送致することができる。
- 5 家庭裁判所は、触法少年を検察官に送致することができる。

問題 150 事例を読んで、医療観察中にD社会復帰調整官がEさんに対して行うことのできた業務として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

保護観察所のD社会復帰調整官は、医療観察の対象者であるEさんを担当して、指定入院医療機関に入院中の生活環境の調整に始まり、関係機関との連携を図るケア会議を開催した。その後、Eさんは退院し、入院によらない医療を受けながら自宅での生活を行った。その間、精神科病院への一時的入院もあったが、法定期間満了前に処遇の終了を迎えることができた。

- 1 Eさんの生活環境の調整を保護司に委ねた。
- 2 Eさんの精神保健観察中に「守るべき事項」を決定した。
- 3 開催されたケア会議において、Eさんの退院許可の決定を行った。
- 4 入院によらない医療を受けているEさんに対して、「精神保健福祉法」の規定による入院を行うための調整をした。
- 5 Eさんの指定通院医療機関による医療の終了を決定した。

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。